ゆいちゃんはシリタガリーノ!!

開宗850年!!

星木レイ

浄土宗コドモタイムズ
第72号
発行
浄土宗児童教化連盟
発行人
齊藤　一光
〒873-0002
大分県杵築市大字南杵築371
正覺寺内
TEL 0978-62-3063
FAX 0978-68-8301

アリンコのうた

詩・絵　今井 康隆

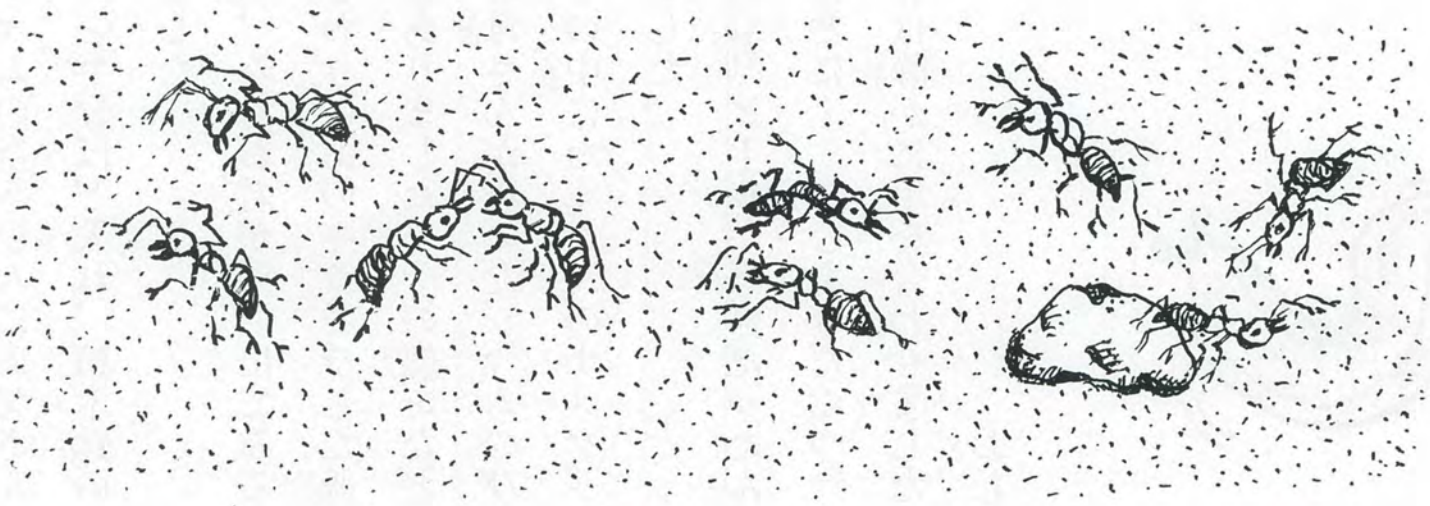
アリアリよ
どこへ行く
焼けた砂場を
かけめぐり

サバクのような
お砂場を
ジープのように
かけまわる

アリアリよ
なぜいそぐ
そんなに走っちゃ
目がまわる

ときどき仲間と
ごあいさつ
なにかいいもの
あったかな

熱中症には
気をつけな



梅雨ときのお客様

星木　レイ

みちお君は、お母さんにたのまれて、植木鉢の花に水をやっていました。お母さんが大切に育てているので、色とりどりの花が咲いています。でも、よく見ると、花びらやつぼみが何者かにかじられています。

「おやー？　いったい犯人はだれだろう？」

みちお君さらによく見ると、鉢のまわりにはキラキラ光り線のような跡がありました。

その夜はしとしと雨が降りました。みちお君がふと玄関の壁を見ると、何やら黒っぽい細ながいものが這っています。

「いやー、君はひょっとしてナメクジ君かい？」

みちお君がたずねると、

「そうさ、ボクはナメクジだよ」

と答えました。見るとてナメクジの這ったあとにはキラキラと光る線が…

「君たちが這ったあとは何だか光っているね。どうしてかな？」

みちお君が聞くと、ナメクジはちょっと得意げに答えました。

「実はボクたちの体は、とってもデリケートなんだ。皮膚はとてもやわらかくて摩擦にも弱いから自分で粘液を出して、その上を歩くのさ。ボクたちはおそいように見えるけど4メートルくらいは移動しちゃうんだよ。

「へーっ、そうなんだー！　でも動いた証拠が残るね。外の花を食べたのも君たちかい？」

「あー、そうなんだよー。でもボクたちは植物ばかりを食べているわけじゃないんだ。虫の死骸なんかも食べて、タンパク質を取ると早く成長して産卵できるようになるのさ」

みちお君が目を丸くして驚いていると、うしろで「きゃあー！」とお母さんのさけび声がしました。お母さんは台所へ割りばしを取りに走って、ナメクジをひっつかむと外へ放りにいきました。

そしてジャムの空きびんにお父さんの大事なビールを半分ほど入れ、植木鉢のまわりに置きました。

あくる朝、みちお君が外へ出てみると、植木鉢のまわりにあのキラキラした線の跡がいくつもありました。その線をたどっていくと、お母さんが置いたジャムのびんが…そしてその中にたくさんのナメクジ君が沈んでいました。

「ナメクジ君、ビールが好きだったんだね、おぼれるほどに…。なむあみだぶつ」

みちお君は静かに手を合わせました。

おしまい

質問

お盆のときにキュウリやナスに足をつけるのは、どういう意味がありますか？

（小学校4年生）

答え

お盆を迎えるにあたってお仏壇の前に、お餅や果物やお野菜などたくさんのお供えがされている光景を目にしたことがある方もおられるでしょう。その中にご質問のように、キュウリやナスに足を4本つける習慣があります。これはいったい何のためにするのでしょうか。

お盆には大切なご先祖様がかえってこられます。亡くなった大切な人、ちょっとでも早くかえってきてほしい。車や飛行機にでも乗って早くかえってきてほしい。そう思うわけです。昔は車も飛行機もありません。昔の一番早い乗り物といえば、馬です。細長いキュウリに足を4本、「馬に乗って早くかえってきてね！」というお願いが込められたのがキュウリに足を4本の正体です。

お盆が終わってご先祖がかえられる、ゆっくりかえってほしいという思いの表れ、ゆっくりの象徴は「牛」です。ふっくらとしたナスに足を4本、「牛に乗ってゆっくりかえってね！」という願いが込められています。

形にはそれぞれ意味があります。思いがあります。

亡くなったご先祖様は、姿も声も聞こえないけれども、いつも皆さんのことを見守ってくださって、導いてくれています。お盆の時には、ご先祖様を身近に感じれる期間です。ご先祖を感じて、お仏壇に手を合わせましょう。

これも仏教の言葉だよ！

勝利

「あの人が勝利した。」「あの学校（チーム）が勝利した。」スポーツだけでなく誰かと対戦するすべてのものには、勝者と敗者がいます。「負けるより勝つ方がいい！」それはそうですが、勝つことが「いいこと」で敗けることは「わるいこと」でしょうか。

「勝利」という言葉、実はこれは仏教の言葉です。仏様から勝れたご利益を頂くことを「勝利」といいます。勝れたご利益を頂くことが、いつの間に勝って利する（得する）という意味で「勝利」と使われるようになりました。

勝つことだけにこだわると、いつも勝たなくてはならないという思いが強くなり、心が安まることがありません。勝ち負けはあくまでも結果で、夢に向かってコツコツと努力することが大切です。

ご家族や先生や監督コーチ、一緒に目標に向かってがんばり仲間の事を大切にしながら一生懸命努力する人は、勝ち負けに関係なく、みんな「勝利者」です。

感謝の気持ちを忘れずに、楽しみながら夢に向かってがんばりましょう。

みんなで考えよう　ちがいさがし

絵：岡本こずえ

右の絵と左の絵の違いを5つ見つけてください。

ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。

しめきり令和5年10月30日です。

送り先
〒873-0002
大分県杵築市大字南杵築371
正覚寺内
浄土宗児童教化連盟事務局
TEL 0978-62-3063
FAX 0978-68-8301

前回の答え

お知らせ

◇みなさんからの記事を待っています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も待っています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◇送り先は　〒873-0002　大分県杵築市大字南杵築371　正覚寺内　浄土宗児童教化連盟事務局
TEL 0978-62-3063　FAX 0978-68-8301
感想もいっしょに書いてくださいね。

ぷくぷく編集室

空白の日
本の歴史って
て知ってま
すか。
二世紀～
三世紀には
卑弥呼が女
王だった邪馬台国が存在し、その後四世紀～五世紀には連合政権ヤマト王権が日本列島を初めて統一します。

その間の約一五〇年間は歴史の記録がぬけ落ちていて、空白の四世紀と呼ばれています。

何が起きていたのでしょうか。昔の日本人は文字を持たない民族でした。しかし中国の歴史書には日本のことが記録されていて、その空白の期間をのぞいてくわしく書かれています。

令和五年、奈良市富雄丸山古墳で鏡と剣が見つかり、国宝級の発見といわれました。この古墳が作られたのはこの空白の四世紀とされる時代で、今回の発見は謎とされていた時代を知る上で貴重な資料になると注目されます。